

スキーオリエンテーリング世界選手権大会ミドル競技 2008年3月7日 北海道留寿都村

世界選手権前半の雪辱から一転、北欧勢が勢いを取り戻した。くるくると変化する厳しい気候の中、日本は苦戦を強いられた。

2009年3月7日 北海道留寿都村
スキーオリエンテーリング世界選手権
ミドル競技

男子ミドル結果

1	Olli-Markus Taivainen	FIN	0:37:12
2	Staffan Tunis	FIN	0:37:49
3	Matti Keskinarkaus	FIN	0:38:08
4	Andrey Lamov	RUS	0:38:11
5	Peter Arnesson	SWE	0:38:13
6	Andrey Grigoryev	RUS	0:38:30
26	堀江守弘	日本	0:43:49
38	田中陽希	日本	0:47:52
43	高橋善徳	日本	0:54:35
48	黒田幹朗	日本	1:01:50

女子ミドル結果

1	Tatiana Vlasova	RUS	0:40:26
2	Helene Söderlund	SWE	0:41:49
3	Josefine Engström	SWE	0:42:05
4	Hanna-Majja Mäkelä	FIN	0:42:27
5	Hannele Tonna	FIN	0:42:42
6	Barbora Chudíková	CZE	0:42:53
26	酒井佳子	日本	0:52:01
36	高橋美和	日本	1:15:06
37	白鳥桂子	日本	1:38:52



日本男子・黒田幹朗
今回ミドルに照準を合わせてきた。予想を上回る厳しい気象条件のレースとなった。黒田のレース時にはテレインが霧に包まれた。



日本女子・白鳥桂子。大雪と霧の中、フィニッシュ。フィニッシュレーンを近づく選手に気づかないほどの視界の悪い時間帯。

アクシデントの日本チーム

朝からくるくるとよく変わる天気だった。静寂の次の瞬間には突風、クリアな視界の5分後には霧の中。止んだと思ったら大雪。こんな天候に日本チームは翻弄された。

日本男子のエース、堀江守弘もスタート直後に突風に煽られ、マップケースから風で地図が飛び出すトラブルに見舞われた。地図は木の幹で止まり、

なんとか競技に復帰できたがすでにマップホルダーが壊れていた。堀江の得意とするミドル種目で、レースの内容そのものは良かっただけにこのトラブルは残念だ。

日本女子の高橋美和もレース中転倒したときにマップケースが破損してしまった。マップケースを手で持つためポール推進が使えず、大幅にスピードダウン。最後はマップケースを口にくわえてフィニッシュ。まともなレースにはならなかったようだ。

フィンランド男子・金銀銅独占

ロシア勢にヤラれっぱなしの世界選手権前半から1日の休養日を挟み、北欧勢の巻き返しが始まった。圧巻はフィンランド男子によるメダルの独占だろう。

女子はロシアのベテラン、タティアナがやっと期待通りの金メダルに輝く。だが2位、3位にはスウェーデン勢が入りその後もフィンランド勢と続き、タティアナ以外のロシア選手を入賞から追い落とした。

前日はミズレ、当日は新雪と風。こんな日の雪質は場所によって全く変わる。さらにミドルらしいナビゲーション技術を問うコース。チームと選手の総合力を問う状況になった。こんな中、北欧勢が地力を発揮したミドル競技だった。

(木村佳司)



反撃の狼煙をあげたフィンランドが金銀銅を独占。金メダルは今回絶好調のオリマルクス・タイバイネン（フィンランド）男子フラワーセレモニー時間帯の天候は安定していた。